

2023年度 長浜教区共済特別会計収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 15,314,719 円也

歳出総額 370,000 円也

差引残高 14,944,719 円也 (京都教区財政調整資金及び
長浜別院一般会計臨時部へ繰入)

単位＝円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	15,314,719	前年度繰越金	災害見舞金	0	
拠出金	0		弔慰金	330,000	住職7名・坊守8名 門徒3名
教区事業費会計 回付受金	0		祝金	40,000	結婚2件
雑収入	0				
合計	15,314,719		合計	370,000	

会計設置の目的

相互扶助の精神に則り、長浜教区内寺院が納付する拠出金により、寺院の災害及び寺族・門徒の慶弔に対して共済金を給付することを目的とする。
なお、2023年度は各寺院に対する共済拠出金（年1,000円）は賦課しない。

長浜教区共済特別会計の残額整理の方法について

① 京都教区と長浜教区の門徒指数（第4回門徒戸数調査結果）の比率により、当会計から新教区の財政調整資金会計へ繰り入れる額を算出する。

■ 門徒指数比率 ⇒ 京都39279.39 : 長浜9109.85 = 1 : 0.2319

■ 2023年度京都教区慶弔・災害見舞特別会計の残高 = 818,185円…①

■ 財政調整資金会計への按分額 = ① × 0.2319 = 189,737円

② 按分した余の額については、長浜別院一般会計（臨時部）へ繰り入れる。

長浜教区共済特別会計残高	繰入れ額	
14,944,719	189,737	財政調整資金会計
	14,754,982	長浜別院一般会計

2023年度 長浜教務所員役宅整備特別会計収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 6,741,339 円也

歳出総額 790,290 円也

差引残高 5,951,049 円也 (京都教区諸施設営繕資金へ繰入)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	6,741,339	前年度繰越金	家賃	702,600	役宅賃貸料(教区負担分 本山送金)
地方事業補助金	0		諸費	87,690	役宅火災保険料
本山負担金	0				
使用料	0				
教区事業費会計 回付受金	0				
雑収入	0				
合計	6,741,339		合計	790,290	

※地方事業補助金

教区役宅建設資金の補助を目的として、前年度宗派経常費超過額の5%が本山より交付されていたが、2022年度をもって廃止。

長浜教区教務所員役宅整備特別会計の残額整理の方法について

全額を新教区の諸施設営繕資金会計へ繰り入れる。

長浜教区教務所員 役宅整備 特別会計残高	繰入れ額	
5,951,049	5,951,049	諸施設営繕資金会計

2023年度 長浜教区公用車費会計収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 4,810,589 円也
歳出総額 1,285,870 円也
差引残高 3,524,719 円也 (京都教区財政調整資金へ繰入)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	3,610,589	前年度繰越金	車両費	1,029,520	フリードリース料金 エブリリース料
教区事業費会計 回付受金	1,200,000	リース+保険料相当額	維持管理費	256,350	保険料2台分 管理諸費
雑収入	0				
合計	4,810,589		合計	1,285,870	

会計設置の目的

伝道車のリース料並びに維持管理に係る経費を明確にすることを目的とする。
現在メンテナンスリースにて車両を2台保有している。

※車両情報

ホンダ フリード
・月額リース料 44,000円 ・年間保険料 72,880円

スズキ エブリィ
・月額リース料 40,810円 ・年間保険料 138,720円

長浜教区公用車費会計の残額整理の方法について

全額を新教区の財政調整資金会計へ繰り入れる。

長浜教区公用車費 会計残高	繰入れ額	
3,524,719	3,524,719	財政調整資金会計

2023年度 長浜教区出版物会計収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 1,572,999 円也
歳出総額 1,572,999 円也
差引残高 0 円也 (会計閉鎖)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	398,557	前年度繰越金	頒布諸費	48,152	書籍買取額 宗派発行以外の書籍
頒布交付金	0		本山出版冥加金 支出	785,850	宗派発行書籍の精算 (本体価格の7割)
本山出版冥加金	885,729	教務所での直接頒布額 宗派発行書籍	教区事業費会計 回付金	738,997	前年度繰越金・今年度 残高と同額を回付
教区出版冥加金	288,713	教務所での直接頒布額 宗派発行以外の書籍			
雑収入	0				
合計	1,572,999		合計	1,572,999	

会計設置の目的

書籍頒布に係る収支を明確にすることを目的とする。
書籍頒布における本山窓口扱い（年間書・TOMOブック）の1割、および教務所窓口扱いの全額を収入とし、教務所窓口扱いの7割を本山へ支出する。
教務所窓口扱い書籍は2割引きで頒布をしていることから、結果として、本山窓口扱い、教務所窓口扱い共に1割分が教区収入となる。
差引額（繰越金）は翌年度に全額を教区事業費会計へ回付する。

支出規定（教区出版物会計規程 第2条及び第5条）

本会計の支出は出版物頒布に要する経費をもって支出とする。毎会計年度末の剰余金を新年度の教区事業費会計に回付しなければならない。

2023年度 長浜教区災害救援特別会計収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 13,682,571 円也
歳出総額 11,141,950 円也
差引残高 2,540,621 円也 (京都教区災害支援対策資金へ繰入)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	3,557,204	前年度繰越金	救援活動費	16,583	備蓄品購入 (ミネラルウォーター)
救援金収入	10,125,367	令和6年能登半島地震	災害救援金	11,125,367	能登半島地震(見舞金 100万・救援金収納分)
教区事業費会計 回付受金	0				
雑収入	0				
合計	13,682,571		合計	11,141,950	

会計設置の目的

教区内外における大規模災害発生時の迅速な対応のため、初動に係る経費ならびに救援金の一部を確保することを目的とする。

支出規定（長浜教区災害救援特別会計規程 第3条）

本会計の支出は教区会参事会及び教区門徒会常任委員会の議に付し支出する。ただし、当該会議の議決を経るとまのない場合は、教区会議長及び教区門徒会長並びに教務所長の合議により支出することができる。

長浜教区災害救援特別会計の残額整理の方法について

全額を新教区の災害支援対策資金会計へ繰り入れる。

長浜教区災害救援 特別会計残高	繰入れ額	
2,540,621	2,540,621	災害支援対策資金会計

2023年度 長浜教区運営積立金収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 21,537,040 円也

歳出総額 0 円也

差引残高 21,537,040 円也

(京都教区転退職慰労金給付資金及び京都教区推進員連絡協議会、
京都教区保護司会並びに長浜別院一般会計臨時部へ繰入)

単位＝円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	20,116,854	前年度繰越金	本年度支出金	0	
教区事業費会計 回付受金	1,420,186	前年度経常費超過額 14,201,862円の10%			
雑収入	0				
合計	21,537,040		合計	0	

会計設置の目的

教区運営に不測の事態が生じたとき、並びに将来的展望に立った重大な事業を推進するための資金を確保することを目的とする。前年度宗派経常費超過額の10%にあたる金額を、教区事業費会計より積立てる。

長浜教区運営積立金の残額整理の方法について

- 2024年6月30日現在で旧長浜教務所に在籍した職員への給付相当額として、新教区の転退職慰労金給付資金会計へ500,000円を繰り入れる。
- 旧長浜教区の推進員連絡協議会の会計は教区事業費会計内で管理していたことから、新教区の推進員連絡協議会発足にあたっての旧長浜教区負担分として、当該団体の会計へ1,000,000円繰り入れる。
- 旧長浜教区の保護司会の会計は教区事業費会計内で管理していたことから、新教区の保護司会発足にあたっての旧長浜教区負担分として、当該団体の会計へ100,000円繰り入れる。
- 按分した余の額については、長浜別院一般会計(臨時部)へ繰り入れる。

長浜教区運営積立金残高	繰入れ額	
21,537,040	500,000	転退職慰労金給付資金
	1,000,000	京都教区推進員連絡協議会
	100,000	京都教区保護司会
	19,937,040	長浜別院一般会計

2023年度 長浜教区長期総合整備計画積立金収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 34,000,285 円也

歳出総額 0 円也

差引残高 34,000,285 円也

(京都教区諸施設営繕資金及び
京都教区会館護持金積立金並びに
長浜別院一般会計臨時部へ繰入)

単位＝円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	33,000,285	前年度繰越金	教区事業費会計 回付金	0	
教区事業費会計 回付受金	1,000,000				
雑収入	0				
合計	34,000,285		合計	0	

会計設置の目的

長浜教区・長浜別院・五村別院の密接な連携のもと、長期的な整備計画による関係諸施設の営繕事業に着手するまでの間、当該事業に必要な資金の一部を準備し、これを確保することを目的とする。

支出規定（長浜教区長期総合整備計画積立金に関する規程 第6条）

本積立金の一部又は全部を使用するときは、特別会計を設定し又は教区事業費会計の予算に計上して教区会及び教区門徒会の議決を得なければならない。

長浜教区長期総合整備積立金の残額整理の方法について

① 京都教区と長浜教区の門徒指数（第4回門徒戸数調査結果）の比率により、当会計から新教区の諸施設営繕資金会計へ繰り入れる額を算出する。

■ 門徒指数比率 ⇒ 京都39279.39 : 長浜9109.85 = 1 : 0.2319

■ 2023年度京都教区会館営繕資金会計の残高 = 1,878,668円…①

■ 諸施設営繕資金会計への按分額 = ① × 0.2319 = 435,663円

② 上記①と同様の方法により、当会計から新教区の会館護持金積立金会計へ繰り入れる額を算出する。

■ 門徒指数比率 ⇒ 京都39279.39 : 長浜9109.85 = 1 : 0.2319

■ 2023年度京都教区会館基本金会計の残高 = 26,345,334円…②

■ 会館護持金積立金会計への按分額 = ② × 0.2319 = 6,109,482円

③ 按分した余の額については、長浜別院一般会計（臨時部）へ繰り入れる。

長浜教区長期総合整備 計画積立金残高	繰入れ額	
34,000,285	435,663	諸施設営繕資金
	6,109,482	会館護持金積立金
	27,455,140	長浜別院一般会計

2023年度 長浜教区図書購入積立金収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 1,626,247 円也

歳出総額 0 円也

差引残高 1,626,247 円也 (長浜別院一般会計臨時部へ繰入)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	1,626,247	前年度繰越金	教区事業費会計 回付金	0	図書購入費使用額の同額を回付
教区事業費会計 回付受金	0				
雑収入	0				
合計	1,626,247		合計	0	

会計設置の目的

教区における図書購入に必要な資金を確保することを目的とする。

支出規定（長浜教区図書購入積立金規程 第6条）

本積立金の一部又は全部を使用するときは、特別会計を設定し又は教区事業費会計の予算に計上して教区会及び教区門徒会の議決を得なければならない。

長浜教区図書購入積立金の残額整理の方法について

全額を長浜別院一般会計会計（臨時部）へ繰り入れる。

長浜教区図書購入 積立金残高	繰入れ額	
1,626,247	1,626,247	長浜別院一般会計

2023年度 長浜教区青少年教化推進資金収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 2,038,169 円也
歳出総額 26,171 円也
差引残高 2,011,998 円也 (長浜別院一般会計臨時部へ繰入)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰越金	2,038,051	前年度繰越金	教区事業費会計 回付金	26,171	青少年教化推進事業 使用額の同額を回付
雑収入	118	預金利息			
合計	2,038,169		合計	26,171	

会計設置の目的

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌長浜教区讃仰事業として予定されていた「東本願寺で花まつり」の無期延期に伴い、その開催に願われた趣旨を継承し、もって教区の青少年教化の総合的な推進を図るため、その構想および事業計画を推進するための資金を確保することを目的とする。

支出規定（宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌長浜教区お待ち受け事業特別会計における花まつり費の残額を青少年教化推進資金として保管するための臨時措置規程 第4条）

本積立金の一部又は全部を使用するときは、特別会計を設定し又は教区事業費会計の予算に計上して教区会及び教区門徒会の議決を得なければならない。

長浜教区青少年教化推進資金の残額整理の方法について

全額を長浜別院一般会計会計（臨時部）へ繰り入れる。

長浜教区青少年 教化推進資金残高	繰入れ額	
2,011,998	2,011,998	長浜別院一般会計

2023年度 長浜教区新教区準備積立金収支計算書

自 2023年7月 1日

至 2024年6月30日

歳入総額 2,746,799 円也
歳出総額 2,491,340 円也
差引残高 255,459 円也 (京都教区財政調整資金へ繰入)

単位=円

収入の部			支出の部		
項目	収入額	備考	項目	支出額	備考
繰入金	2,746,799	慶讃事業長浜教区特別会計の残余金	教区事業費会計 回付金	2,491,340	使用額の同額を回付
雑収入	0				
合計	2,746,799		合計	2,491,340	

会計設置の目的

京都教区との教区改編による新教区が発足するまでの間に、その準備として長浜教務所及び長浜別院において必要となる施設、設備等の改修、備品の購入等に係る資金の一部又は全部を準備するための資金を確保することを目的とする。

なお、本積立金は、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業長浜教区特別会計の残余金を原資とする。

支出規定（長浜教区新教区準備積立金規程 第4条）

本積立金の一部又は全部を使用するときは、教区事業費の予算に計上して教区会及び教区門徒会の議決を得なければならない。

【本年度使用額の内訳】

内容	金額	備考
長浜別院ネットワークカメラ増設費	2,423,960	使用経費同額を長浜別院一般会計へ回付
WEB会議用マイクスピーカー購入費	50,880	教区事業費会計にて支出（備品費）
看板調製費（教務支所・教化センター）	16,500	教区事業費会計にて支出（備品費）
合計	2,491,340	

長浜教区新教区準備積立金の残額整理の方法について

全額を新教区の財政調整資金会計へ繰り入れる。

長浜教区新教区準備積立金残高	繰入れ額	
255,459	255,459	財政調整資金会計